

# GxSortの解説

## GxSort の起動の仕方

GxSort のインストールが終了したら、起動させて下さい。

初めて起動する場合は、次のいずれかの方法で起動して下さい。

Gxview を起動させて Gxview のメニューから「GxSort 起動」を選ぶ。

Windows の[スタート]ボタンを押して[プログラム(P)]の項目から[TecProjp]の項目の中から、[GxSort]をクリックします。若し[TecProjp] [GxSort]の項目が無い場合はインストールが出来ていません、インストールを行なって下さい。

ここから起動した場合は最初に画像を選択して下さいのメッセージが出ますので、選択画面から「JPG 画像」を選択して下さい。この場合の選択は画像が 2 個以上有るフォルダを指定して下さい。

GmanX のメニューから[GxSort 起動]で任意の起動が出来ます。

その他(パソコンに詳しい方は、何らかの方法で任意の画像を GxSort に引き渡して起動させて下さい。)

次回からの起動は、GxSort をクリックすれば起動しますが、前項の から起動するのがベストです。 の起動では、前回起動したフォルダで起動するようになります。

起動時に引き渡せる引数(起動情報)は、「JPG 画像」「GX リスト」「Gmandir フォルダ」「Gman リスト」です。

[GXList] お好みの画像を集めたリストで、任意のフォルダから画像をリストアップしたものです。詳細は別項を参照下さい。

[Gmandir フォルダ] 一つのフォルダを選択する場合は、そのフォルダ内の画像を選択します。「Gmandir」を選択すると、「Gmandir」の下層フォルダ群が選択されます。このフォルダ群を、フォルダ 1 個を画像 1 個と置き換えたスタイルのフォルダ参照処理になります。サムネールはフォルダの代表画像がサムネールになります、処理数は画像数ではなく、フォルダ数が対象となります。

[GmanList] お好みのフォルダを集めたリストで、任意の位置からフォルダ単体をリストアップしたものです。詳細は別項を参照下さい。

## GxSort の解説

GxSort は画像の管理を誰にでも簡単に、楽しくに扱う事が出来る様に工夫されたツールです。

一つのフォルダに有る画像をファイル名では無く、別に好きな画像名を付けて管理出来ます、ファイル名は原則として変更したりしません。

GX シリーズでは、画像が保存されているフォルダには別にわかり易い名前が付けられます。ファイルに対しては画像名、画像の説明文、フォルダに対しては、別の名前とフォルダの説明文が添付されます。これらは、GrpeeX での閲覧、編集と、スライドショーで表示が出来ます。

GmanX でフォルダを、お好みの階層に構築して構成が出来ます、この事により好みの分類方法で、多層、多岐に分類が出来ます、また分類が重複した場合には「GmanList」で分類が重複した画像でも 1 枚の画像で対応出来るようになります。

この GmanX で使用するフォルダの構成も GxSort が行ないます。

GxSort は画像の処理だけでなく、フォルダの処理構成も行ないます。

大まかな処理内容を次に挙げます。

- 画像、フォルダの並び替え(ファイル名等に左右されない完全な自由な並び替え)
- 画像名、フォルダ名(SubBox 名)、随時変更
- 画像の説明文、フォルダの説明文
- 画像の比較(細部まで目で比較できます)
- 画像の無効、有効の設定(削除しないで、削除状態を作り出します)
- 画像の追加処理
- 「GX リスト」の作成 GxList に付いては別項参照下さい。
- 「Gman リスト」の作成 GmanList に付いては別項参照下さい。
- スライドショー等、その他

### GxSort でのサムネールのサイズについて

GxSort ではサムネールの大きさは 94x81 のサイズに固定となっています。一般に扱われている縦横比固定の変動サイズでは有りません。サムネールの様な小さな画像を縦横比固定で表示するより縦横比が違って出来るだけ大きく全体を表示した方が断然見やすいからです。なるべく多くのサムネールを表示して、全体を見やすくする配慮です、多分違和感は無いと思います。画像が縦置き、横置きがわからないという方はサイズをステータスバーに表示しています。画像をダブルクリックで実サイズ表示になります。

## GxSort の操作解説

### 各部の説明

画像のサムネール一覧が表示され、その下に画像名が表示されます。

ツールボックス



指定したフォルダ内の画像を全てサムネール表示します。但し無効に設定した画像は表示されません。

サムネールをドラッグドロップで任意の位置に移動出来ます。

上記の通り、ランダムにサムネールが並んでいますが、この並びはユーザーが自由に並べる事が出来て、その並びにそって「Gxview」「GrpeeX」は処理出来ます。

又フォルダ内の画像は好き勝手に無効にしたり有効にしたりが出来ます。無効にした画像はそれ以降「Gxview」「GrpeeX」では表示されず、処理出来なくなります。

#### [サムネール画像の処理]

- 画像をマウス左ボタン押し下げでドラッグモードになります。その画像を任意の位置に移動できます。
- 画像が複数選択されているとき、選択されている画像をマウスの左ボタンを押し下げでドラッグモードにすると、選択されている全ての画像を移動できます。
- サムネール数が多くて全部のサムネールが表示されていない時に画像をドラッグして最上段の部分、又は最下段の端までドラッグすると一段、上下にスクロールします。
- 選択中の画像をマウス左ボタンでクリックすると選択解除になります。
- 選択画像が無い場合、画像をマウスの右ボタンでクリックすると、その画像が選択されます。
- 1 個の画像が選択中の時、別の画像をマウスの右ボタンでクリックすると、その画像までの間の画像全てが選択されます。複数選択中は全て選択解除します。
- 選択中の画像をマウスの右ボタンクリックすると選択画像のサブメニューが表示されます。
- 画像をマウスの中央ボタンでクリックすると、実サイズ画像を表示する事ができます。尚この操作は、ダブルクリックか、[Alt]キーとマウスの左ボタンでも処理できます。戻る時は実サイズ画像を右ボタンでクリックします。
- 画像が選択されている時、任意の位置で[Shift]+[Ctrl]キーを押しながら、マウスの左ボタンでクリックすると選択中の画像全てをその位置に移動させる事ができます。離れた位置に移動させる場合に便利です。

[選択] 画像を選択するとサムネールは反転表示になります。

画像が選択されると、左ツールボックスの下にゴミ箱が表示されます。

[ドラッグ] ドラッグ開始でマウスカーソルは移動カーソルに変わります。

画像名のラベルをクリックで。

- マウスの中央ボタンクリックで画像名の変更が出来る

画像名を自由に変更できます、ここで変更される画像名はファイル名では無い事に注意下さい。画像名に何の制約も有りませんが、長い名前の場合ラベルに表示し切れませんので、表示できる範囲にするのが良いでしょう。長い名前にしたい方は、画像の説明文に書き込む事をお薦めします。又名前の部分に「,(カンマ)」「¥(円記号)」「空白」等を使うと誤作動の原因となる事が有りますので不都合が起こった場合は調べてみて下さい。

尚、[Shift]+クリックで同じ操作ができます。

- マウスの左ボタンクリックで比較モード

クリックした画像と次の画像を比較するモードになります。2つの画像名部分の色が変化して、ツールボックスに比較フレームが現れます、ここにファイルサイズ、画像のサイズ、日付が表示され比較が出来ます。この時[比較]ボタンを押すと2つの画像を実サイズで並べて表示して目で比較出来ます。表示できない部分は実サイズ画像をマウスでドラックして動かして隠れた部分を見る事ができます。

尚[Shift]キーを押しながらドラッグでマウスをドラッグすると、並んだ2つの画像は一緒に動き違いを細部まで比較できます。

- マウスの右ボタンクリックで比較モードの実サイズ画像表示になります、[比較]ボタンを押した時と同じ2枚の画像を実サイズで並べて表示します。表示できない部分は実サイズ画像をマウスでドラックして動かして隠れた部分を見る事ができます。

尚[Shift]キーを押しながらドラッグでマウスをドラッグすると、並んだ2つの画像は一緒に動き違いを細部まで比較できます。

比較モードの2枚の画像を表示中に戻る場合は、実サイズ画像を右ボタンでクリックします。

比較モードと実サイズ画像の表示は画像処理の場合のみでの操作となります。フォルダ処理での場合はフォルダの名前の変更のみ操作出来ます。

## GxSort の取り扱えるモード

GxSort では下記の 4 つのモードが扱えます。

### ノーマル画像処理モード

通常の画像並び替えが出来るモードです。任意のフォルダ内の画像を設定して無効にしたり、有効にしたり、並び換えたりと様々な処理が出来るモードです。又画像名も簡単に付ける事が出来ます。始めて起動したフォルダにはファイル名の拡張子を取り去った画像名が割り振られます。

### 画像リスト(GXList)モード

GX リストモードとは、任意のフォルダに点在している画像を一つの仮想フォルダに集めた、現実には存在しない幻想のフォルダです。実態が無いので、画像も元の位置に有り特別コピーとか移動とかの処理はされません、GX シリーズ上で現実のフォルダに画像が有るかのように扱えます。で無効になった画像も扱えて、元の画像名とは別の画像名も付ける事が出来ます。タイトルも別に付けられるので、スライドショーではこのリスト専用のタイトルがスクロール表示出来ます。

### Gman フォルダ処理モード

GX シリーズでは GmanX が取り扱うフォルダ(SubBox)も画像と同じように GxSort で取り扱えます。フォルダには自由にフォルダ名(SubBox 名)が Windows のフォルダ名と別に付ける事が出来ます。フォルダの並び換えも簡単に出来、この並びは GmanX でフォルダを開いた時に繁栄されます。

### GmanList モード

Gman リストモードは、画像を取り扱う時の GX リストモードと同じように、仮想の FolderList で、色々な所のフォルダを一まとめに集めた仮想のフォルダ群です。現実には幾つものフォルダを集めて系統フォルダを構築しなくても、GmanList で実際にたくさんのフォルダを一箇所に集めたように扱えます。並びも自由に変更出来てフォルダ名(SubBox 名)も実際のフォルダ名とは違う名前を付ける事が出来ます。並びに添ってフォルダ移動付きのスライドショーを実行できます。このリストは Gxview で扱う事出来ます。

## ツールの説明

通常、もっとも一般的画像モードの表示状態ですが、説明上の表示の為、実際の表示とは状態が違います。



上記の内容は各モードで若干異なります。



## ツールの説明 詳細

### (1) [Rename]画像名変更

このボタンを押すと、画像名を一括で変更します。(2)のオプション内容によって、変更する画像数が違います。

尚、変更されるのはファイル名ではなく、画像名です。

尚フォルダ処理している場合はフォルダ名(SubBox 名)が変更されます。

SubBox 名については、別項の説明を参照して下さい。

### (2) 画像名変更オプション

Only 選択されている 1 枚の画像名変更

Select 選択されている全ての画像名変更

All 現在処理中の全ての画像名

### (3) [Name]名前による並び換え

画像名の順番に現在の並びを変更します。ファイル名では無く画像名である事にご注意下さい。尚ファイル名による並び替えは、ポップアップメニューから処理してください。

### (4) [Date]日付による並び換え

ファイルの日付順に並び替えます、年月日時分秒の順に並び替えます。

### (5) [Size]サイズによる並び換え

ファイル大きさの順番にサムネールを並び替えます。(大きさの基準は画像の面積の順番となります。)

尚、このボタンをマウス右クリックすると、次のサブメニューが使えます。

[File Size] 画像の大きさではなく、ファイルのサイズ(バイト数)による並び替え

[横 Size] 画像の横幅の大きさ順に並び替えます。

[縦 Size] 画像の縦幅の大きさ順に並び替えます。

[画像の面積] 画像の面積の大きさ順に並び替えます。

### (6) [ExSort]現在の並びを逆順で並び換え

並びを逆の順番に並び替えます。

### (7) 選択サムネール数表示

現在選択しているサムネールの数が表示されます。

## 画像比較モード

画像名のラベル部分をマウスでクリックすると、次の画像との比較モードのフレームが表示されます。尚右ボタンをクリックすると比較モードで画像を2枚並べて表示されます。

### 『 比較モードの画像 』

比較モード画像は、実画像サイズで2つのフォームに別々に並べて表示します。画面かはみ出した部分はマウスをドラッグする事で動かして見られます、この時[Shift]キーを押しながらドラッグすると、左右両方の画像を同時に動かす事が出来ます。

～ が比較モードの時表示されるフレームです。

#### (8) [比較]2枚の画像比較を実像で比較表示

比較モードの時、このボタンを押すと比較画像2枚を並べて実画サイズで表示されます。似た画像や同じ画像の検査に使えます。

#### (9) 比較 の画像データ

比較モードの時、左側(前)の画像のサイズ、ファイルのサイズ、日付などのデータを表示します。

#### (10) 比較 の画像データ

比較モードの時、右側(後)の画像のサイズ、ファイルのサイズ、日付などのデータを表示します。

#### (11) 現在のサムネールの総数

現在処理しているサムネール画像(フォルダ画像)の総数を表示します。

#### (12) 履歴移動

フォルダ移動した時(処理リストの変更)に矢印ボタンで前後に移動出来ます、勿論フォルダを移動してない場合は移動出来ませんが、前回の履歴が残っている時は、その履歴を読み出す事が出来ます。

矢印がアクティブになっていなければ移動出来ません。

#### (13) 終了ボタン OLE ドラッグドロップでリスト変更

終了ボタンで終わらせます。

終了ボタンに他のアプリケーションからドラッグドロップした場合、フォルダ又はリストで開きます。

## ドラッグドロップ操作

- サムネールの選択  
サムネールをマウスの右ボタンでクリックするとサムネールは反転して選択されます。次に1個反転の状態では別のサムネールを右ボタンでクリックすると最初に選択された位置から次に選択された位置まで全てが反転して選択されます。  
選択を戻す方法は、任意の位置で左ボタンクリックです。左ボタンを押し下げた状態ではドラッグ状態です。
- サムネールのドラッグドロップ  
サムネールをドラッグして、別のサムネールへドロップしたらドロップ位置にドラッグサムネールを移動する事が出来ます。  
この場合画像を選択して選択中の何れかをドラッグした場合は選択したサムネール全てを移動する事が出来ます。
- サムネールのドラッグドロップ2(ゴミ箱へ)  
サムネールのドラッグ開始で、履歴移動矢印がゴミ箱に変わります、この時ここへドラッグドロップしたらサムネールは削除されますが、GxSort ではサムネールは削除されますが、ファイルは削除されません、画像は無効に設定され、GXシリーズでは表示されません(Gxview、GrpeeXでは)、有効にするには、ポップアップメニューの「編集」-「サブ・ウインドウ表示」でサブ・ウインドウを表示させると、左側のウインドウに無効画像のサムネールが表示されますので、そこで移動させて有効に戻す事が出来ます。
- サムネールのドラッグドロップ3 (OLE ドラッグ)  
任意のサムネールをドラッグして他のアプリケーションへドラッグドロップ出来ます。この時の処理方法は受けてのアプリケーションの処理にゆだねられます、エクスプローラへドロップした場合はその画像がコピーされます。Gxviewではその画像で開きます。
- サムネールのドラッグドロップ4 (OLE ドロップ)  
他のアプリケーションの画像をドラッグして、GxSort 上へドロップした場合その画像をその位置にサムネールとして追加出来ます、この場合は画像がフォルダにコピーされて追加されます。GxList の場合はリストに追加されます。

- サムネールのドラッグドロップ 5 (OLE ドロップ) (13)[GX ボタン]  
他のアプリケーションのオブジェクトをドラッグして、(13)[GX ボタン]上へドロップした場合その画像で GxSort は処理移動します。  
ドラッグしたオブジェクトにより再起動処理内容が変わります。  
次にそのオブジェクトの処理を説明します。  
[画像]をドラッグドロップした場合  
通常その画像のフォルダ内の画像を開きます。  
[GxList] をドラッグドロップした場合  
GxList で GxSort を開きます。  
[Gmandir フォルダ] をドラッグドロップした場合  
Gmandir の中に含まれるフォルダを開きます。  
[GmanList] をドラッグドロップした場合  
GmanList で GxSort を開きます。

以上、サムネールへドロップした場合と(13)[GX ボタン]へドロップした場合で処理内容が違う点に注意下さい。尚サムネールへは画像しかドロップ出来ません。

## ポップアップメニュー

ツールバーの余白の部分をマウスの右ボタンクリックでメニューが開きます。

ファイル	▶	(1) File 操作
編集	▶	(2) 編集
ツール	▶	(3) ツール
リスト情報	▶	(4) リスト情報
Option	▶	(5) オプション
Gxsort解説		
終了		

ファイル	▶	リストを開く	▶
編集	▶	選択フォルダ	▶
ツール	▶	直前の起動へ戻る	▶
リスト情報	▶	履歴	▶
Option	▶	新規リスト作成	▶
Gxsort解説	▶	保存	▶
終了		GxList名の変更	

- (11) リストを開く
- (12) 選択フォルダの下層フォルダへ移動
- (13) 直前のフォルダへ戻る
- (14) 履歴参照フォルダ戻る
- (15) 新規リストの作成
- (16) 保存する
- (17) Gx リスト名変更

ファイル	▶	リストを開く	▶	Gx画像を開く	(111) GX 画像を開く
編集	▶	選択フォルダ	▶	Gxリストを開く	(112) GX リストを開く
ツール	▶	直前の起動へ戻る	▶	GmanFolder開く	(113) フォルダを開く
リスト情報	▶	履歴	▶	Gmanリスト開く	(114) フォルダリストを開く
Option	▶	新規リスト作成	▶		
Gxsort解説	▶	保存	▶		
終了		GmanList名変更			

ファイル	▶	リストを開く	▶		(121) 選択フォルダ内の 画像を開く
編集	▶	選択フォルダ	▶	フォルダ内画像 Gmandirを展開	(122) 選択フォルダ内の 子フォルダを開く
ツール	▶	直前の起動へ戻る	▶		
リスト情報	▶	履歴	▶		
Option	▶	新規リスト作成	▶		
Gxsort解説	▶	保存	▶		
終了		GmanList名変更			

ファイル			
編集	▶	画像の追加	▶
ツール	▶	画像の並び替え	▶
リスト情報		サムネール移動	▶
Option	▶	ファイルのコピー	
Gxsort解説		画像名変更	▶
終了		画像の削除	
		タイトル編集	
		SubWindow表示	
		サムネール更新	

- (21) 画像の追加
- (22) 画像の並び替え
- (23) サムネール移動
- (24) ファイルのコピー
- (25) 画像名の変更
- (26) 画像の削除
- (27) タイトル編集
- (28) サブ・ウインドウ表示
- (29) サムネール更新

ファイル	▶		
編集	▶		
ツール	▶	ファイル名一覧	
リスト情報		GxRunch起動	
Option	▶	GrpeeX起動	
Gxsort解説		Gxview起動	
終了		Explorer起動	
		スライドショー	

- (31) ファイル名一覧
- (32) GxRun 起動
- (33) GrpeeX 起動
- (34) Gxview 起動
- (35) Explorer 起動
- (36) スライドショー

## ポップアップメニュー各項目の詳細

### (1) File 操作

#### (11) リストを開く

##### (111) GX 画像を開く

画像選択項目から、画像を選択して、その画像でフォルダを開き、処理を移します。

##### (112) GX リストを開く

GX リスト一覧からリストを選択して、そのリストで GxSort を開き、勿論 GX リストが無ければ実行出来ません。

##### (113) フォルダを開く

画像選択項目から、「Gmandir フォルダ」を選択して、その Gmandir フォルダ内のフォルダを開き、処理を移します。

##### (114) フォルダリストを開く

GmanList 一覧からリストを選択して、そのリストで GxSort を開き、勿論 GmanList が無ければ実行出来ません。

#### (12) 選択フォルダの下層フォルダへ移動

##### (121) 選択フォルダ内の画像を開く

フォルダモードの時、選択サムネールのフォルダ内で画像を開く事が出来ます。

##### (122) 選択フォルダ内の子フォルダを開く

フォルダモードの時、選択サムネールのフォルダ内で Gmandir のフォルダを開く事が出来ます。

#### (13) 直前のフォルダへ戻る

現在フォルダ移動している場合、移動前のフォルダに戻る事が出来ます、通常は履歴ボタンで戻れます。

(14) 履歴参照フォルダ戻る

フォルダ移動履歴が有る場合は、その履歴のフォルダに戻る事が出来ます、通常は履歴ボタンで戻れます。

(15) 新規リストの作成

現在の表示中のサムネールを基に「GxList」や「GmanList」を新規に作成します。

(16) 保存する

現在のサムネールを保存します、並びを変えたりした場合保存します、通常は名前を変えたり、変更が有った時点で自動的に保存されます。並びを変えた時は手動で保存します。

(17) Gx リスト名変更

現在処理中のリスト名を変更出来ます、これはフォルダ名の時も有るし、リスト名の時も有りますが、GXシリーズで表示される名前の変更になります。

(2) 編集

(21) 画像の追加

現在処理中のサムネールに他のフォルダ等からサムネールを追加する事が出来ます。

(22) 画像の並び替え

サムネールの順番をメニュー内容に従って変更出来ます、サイズによるソートボタンのメニューと重複する内容ですが、ファイル名によるソートはここでしか出来ません。

(23) サムネール移動

選択中のサムネールを先頭か末尾に移動する事が出来ます。

(24) ファイルのコピー

選択中の画像を任意のフォルダへコピーします。フォルダを選択して、そのフォルダへコピーされます。



(25) 画像名の変更

選択中の画像名を変更します。選択しないと全ての画像名が一括で変更されます。一括変更名は共通部分を指定すると添え字の番号が付けられます。

(26) 画像の削除

選択中の画像を削除します。繰り返しになりますが、ここで云う削除は、GXシリーズで無効にする事で本当に削除され訳では有りません。GmanX や以前のシリーズの様にゴミ箱へ移されるわけでも有りません。無効の解除は、(28)の「サブ・ウインドウ表示」でサブ・ウインドウを表示させると、左側のウインドウに無効画像のサムネールが表示されますので、そこで移動させて有効に戻す事が出来ます。

(27) タイトル編集

現在のフォルダやリストのタイトルを編集出来ます。ここでは名前などの変更も同時に出来ます。

(28) サブ・ウインドウ表示

サムネールのウインドウを左右 2 個表示して、GX シリーズで無効にした画像を左のサブ・ウインドウに表示します。無効にした画像をドラッグして任意の位置 へ戻せます。戻した画像は勿論有効になります。サムネールを選択して左右矢印ボタンで両方向 へ移動出来ます。

このメニューは現在のフォルダに無効画像が無い場合は利用できません、任意の画像を一度、削除してから使用して見てください。(注意)この場合は必ず GxSort で削除して下さい。間違っ、エクスプローラ等の他のアプリケーションで削除した場合は戻せません。(画像が無くなってしまいます)

(29) サムネール更新

サムネールを更新します。処理に若干時間がかかります。次の場合は更新してください。

サムネールが破損した形でひょうじされる、サムネールがブルーで何も表示されない。明らかに不正に表示される。

エクスプローラ等で直接画像を削除したり移動したりした場合に起こる事が有ります。

### (3) ツール

#### (31) ファイル名一覧

現在のサムネールの順番にファイル名、画像名、日付、サイズを一覧で表示してメモ帳で開きます。

#### (32) GxRun 起動

GxList 一覧表示する「GxRun」を起動します。「GxList」が無い場合は「GxRun」は起動しません。勿論「GxRun」がインストールされて無い場合も起動できません。

#### (33) GrpeeX 起動

現在のフォルダの内容で、「GrpeeX」を起動します。「GrpeeX」がインストールされて無い場合は利用できません。

#### (34) Gxview 起動

現在のフォルダの内容で、「Gxview」を起動します。「Gxview」がインストールされて無い場合は利用できません。

#### (35) Explorer 起動

現在のフォルダ位置でエクスプローラを開きます。

#### (36) スライドショー

現在選択されているサムネール位置からスライドショーを実行します。「Gxview」がインストールされて無い場合は機能限定になります。

### (4) リスト情報

現在のリスト及びフォルダの情報を表示します。

### (5) オプション

各種オプションを利用できます。

### (6) GxSort 解説

簡易解説を表示します。

### (7) 終了

## 選択画像のポップアップメニュー

選択画像をマウスの右ボタンクリックでサブメニューが開きます。

### (1) 現在選択中の画像を削除

画像の削除	(2) 現在選択中の画像を転送フォルダへコピー
転送Copy	(3) 現在選択中のファイルの削除
Fileの削除	(4) Gxview を起動
Gxview	(5) 選択フォルダを開く
選択フォルダ開く ▶	(6) サムネール画像変更
サムネール画変更	(7) 現在選択中の画像を先頭へ移動
先頭へ移動	(8) 現在選択中の画像を最後へ移動
最後へ移動	(9) 現在選択中の画像名を変更
画像名変更	

画像の削除		
転送Copy		
Fileの削除		
Gxview		
選択フォルダ開く ▶	フォルダ内画像	(51) 選択フォルダ内の画像を開く
サムネール画変更	GmanDir展開	(52) 選択フォルダ内のフォルダを開く
先頭へ移動		
最後へ移動		
画像名変更		

## 選択画像のポップアップメニュー各項目の詳細

### (1) 現在選択中の画像を削除

選択中の画像を削除します。繰り返しになりますが、ここで云う削除は、GX シリーズで無効にする事で本当に削除され訳では有りません。GmanX や以前のシリーズの様にゴミ箱へ移されるわけでも有りません。無効の解除は、(28)の「サブ・ウインドウ表示」でサブ・ウインドウを表示させると、左側のウインドウに無効画像のサムネールが表示されますので、そこで移動させて有効に戻す事が出来ます。

### (2) 現在選択中の画像を転送フォルダへコピー

現在選択している画像をオプション設定で設定した転送フォルダへコピーします。転送フォルダを設定してなければ利用できません。

### (3) 現在選択中のファイルの削除

ファイルを削除します。これはファイルを直接削除で画像を無効にするものでは有りません、元の有効に戻す事は出来ませんので注意してください。削除されたファイルは GmanX のゴミ箱で見つける事が出来ます。

### (4) Gxview を起動

現在のフォルダの内容で、「Gxview」を起動します。「Gxview」がインストールされて無い場合は利用できません。

### (5) 選択フォルダを開く

#### (51) 選択フォルダ内の画像を開く

フォルダモードの時、選択サムネールのフォルダ内で画像を開く事が出来ます。

#### (52) 選択フォルダ内のフォルダを開く

フォルダモードの時、選択サムネールのフォルダ内で Gmandir のフォルダを開く事が出来ます。

### (6) サムネール画像変更

フォルダモードの時、選択中フォルダ内の他の画像に表示サムネールを変更する事が出来ます。

(7) 現在選択中の画像を先頭へ移動

現在選択中のサムネールを先頭の位置に移動させます。選択している全ての画像が移動します。

(8) 現在選択中の画像を最後へ移動

現在選択中のサムネールを最後尾の位置に移動させます。選択している全ての画像が移動します。

(9) 現在選択中の画像名を変更

選択している画像名を変更します。任意の名前を入力してください。尚、サムネール画像名の表示しているラベル部分をダブルクリックでも変更出来ます。

## GxList について

GxList は、お好み画像を集めてリスト化します。GxList は任意の目的で分類された画像を集めて仮想フォルダのように扱えます。ここで集められた画像は他で別に分類されて有っても全く関係無く集める事ができます。他で分類されている画像にも影響も与えずにリストアップ出来ます。

GxList は、GxSort を使って通常のフォルダと同じ感覚で扱えますので、画像名を変えたり、並びを変えたり出来ます。ただ画像に付いた説明文は全てで供用します。

GxList は通常のフォルダと同じように扱えるので、Gxview、GrpeeX でも扱う事が出来ます。尚 GxList の一覧表示は GxRun が担当しますが、GmanX でも表示できます。

GxList は GxSort で簡単に作成出来ます。Gxview でも「GxviewGList.txt」が作成出来ますがこのリストも GxList として扱われます。

GxList は「\*\*\*\*Glist.txt」の形式のテキストファイルですので誰にでもテキストエディタで作成出来ますが、間違ったりリストを作ると、GX シリーズ全てが誤作動する場合がありますので充分注意してください。

GX シリーズに慣れていない方は、GxSort で作成する事をお薦めします。